

フォローアップシートは、これまでの全国学力・学習状況調査において、本道の児童生徒が、比較的間違いやすい問題を取り上げ、学習指導要領の指導内容に基づき、学年間の系統性を大切にした指導の在り方について、検討いただくために作成したものです。

各学校において、本シートを活用しながら、調査問題や調査結果の分析等に当たられるとともに、指導内容を再度確認したり、各学年での学びを振り返ったりするなど、指導の参考にしてください。

国語辞典を利用して語句を調べる

「第3学年及び第4学年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) 言葉の特徴やきまりに関する事項」

1 課題となる問題を分析しましょう

⑧ 国語辞典では、言葉が五十音順に並んでいます。また、形が変わる言葉は、言い切りの形で出ています。次の問いに答えましょう。

二 「明日の試合にそなえて早くねる」の中の——線部の言葉について調べます。国語辞典では、どのような言葉にして調べるとよいですか。ひらがな四文字で書きましょう。

<出題のねらい>

この問題は、国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解することができるかどうかをみるものです。

ここでは、国語辞典を利用して語句を調べる際には、語形が変わる語句については、終止形に変えることが求められています。

<正 答> そなえる

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語（平成20年告示）から

【第3学年及び第4学年】

(カ) 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。

【第5学年及び第6学年】

(エ) 語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。

【中学校第1学年】

(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項(カ) 辞書の利用に関する指導

・国語辞典や漢字辞典などの使い方を利用して調べる習慣を付けることの重要性を考え、学習内容が小学校では中学年の指導内容として、まとめて示されています。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 辞書を利用する能力や態度を育て、習慣を付けさせるためには、中学年で十分に指導するとともに、それを踏まえ、日常生活の中で積極的に辞書を利用できる言語環境をつくりましょう。

第3学年及び第4学年では

- 国語辞典の全体の仕組みや構成について理解できるようにする
- ・実際に国語辞典を利用して語句の配列を確認することができるように指導する。
- 辞書を積極的に利用する習慣を付けるようにする
- ・いつでも辞書が手元にあり使えるような言語環境を整備する。
- ・調べる学習や日常生活の中でも積極的に辞書を利用できるように指導する。

第5学年及び第6学年では

- 語句の構成や変化を理解できるようにする
- ・接頭語や接尾語、複合語、などを含めた語句の構成や変化を意味とのかかわりから理解できるように指導する。
- 語句の由来などに関心をもつことができるようにする
- ・語源を調べたり、和語、漢語、外来語などの区別について関心をもったりできるように指導する。

中学校第1学年では

- 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意することができるようにする
- ・語句の文脈上の意味について、辞書的な意味を踏まえ、思考力や想像力を働かせて文脈において具体的かつ個別的にとらえることができるように指導する。
- ・辞書にある様々な意味から文脈上の意味を考えることを習慣化することができるように指導する。

1 課題となる問題を分析しましょう

5 次は、新聞委員の北川さんが「一年生をむかえる会」の様子を伝えた、学校新聞の記事の下書きの一部です。――部を「一年生が」を主語にして書きかえます。あとの□の中に入るふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きましょう。

【北川さんの下書きの一部】

元気いっぱいの一年生 みんなの仲間入り！
 四月十二日、きれいにかざった体育館で「一年生をむかえる会」がありました。進行係の合図のあと、六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。体育館いっぱいにはびきわたるたくさんのはく手。九十二人の一年生は、みんなにこにこ顔。
 ～（下書きが続く）～

一年生が、□、体育館に入場してきました。

<出題のねらい>

この問題は、目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換えることができるかどうかをみるものです。

ここでは、前後の文脈をとらえ、一年生と六年生との関係を適切にとらえながら、一年生を主語にした受動態の文に書き換えることが求められています。

<正答例>

六年生に手を引かれて

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語（平成20年告示）から

【第3学年及び第4学年】
 オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。

【第5学年及び第6学年】
 オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

【中学校第1学年】
 エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

オ 推敲に関する指導事項

・第3学年及び第4学年のどのようなところに注意して推敲したかという学習を生かして、読み手の立場から文章を客観的に評価するなどして表現の効果などを確かめたり、工夫したりすることについて定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 相手や目的に応じているか、自分の考えを明確に表しているか、相互関係が明確な構成であるか、相手が読んで理解しやすい表現であるかなどの観点から表現を検討できるようにしましょう。

第3学年及び第4学年では
 ○文章の間違いを正すことができるようにする
 ・主語と述語及び修飾と被修飾の関係の明確さ、長音、拗音、促音、撥音、助詞などの表記の仕方のほかに、敬体と常体、断定や推量、疑問などの文末表現の使い方などに注意することを指導する。
 ○よりよい表現に書き直すことができるようにする
 ・相手や目的に応じているか自分の考えを明確に表しているかなどといった観点から、表現を検討するように指導する。

第5学年及び第6学年では
 ○表現の効果を確かめたり工夫したりすることができるようにする
 ・中心となる事柄が読み手に明確に伝わっているか、題材のとらえ方、題材の集め方や選び方は適切かなどについて検討する場面を設定して指導する。
 ○主体と対象との関係を明確にすることができるようにする
 ・事実や出来事を説明したり、見聞や体験を報告したりする文章を書く場合には、誰の目を通し、誰の行為や考えを中心に書くのかを明確にし、主体と対象との関係を明確にするように指導する。

中学校第1学年では
 ○表記や語句の用法を確かめることができるようにする
 ・文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切か、語句の選び方や使い方が的確であるかなどをみるように指導する。
 ○叙述の仕方などを確かめることができるようにする
 ・文や段落の長さ及び文や段落の接続の関係などが適切であるかなどをみるように指導する。

1 課題となる問題を分析しましょう



<出題のねらい>

この問題は、必要な情報を得るために、新聞記事を効果的に読むことができるかどうかをみるものです。

ここでは、本文の中から問題となっている事実を取り出すために、問題となっている事実が企画者へのインタビューの中に含まれていることをとらえることが求められています。

<正 答>

年々、市立図書館の利用者数が少なくなっていること。

〔 Cの中から事実と意見とを区別し、企画者へのインタビューの内容に着目する必要があります。〕

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語（平成20年告示）から

【第3学年及び第4学年】
カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

【第5学年及び第6学年】
イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

【中学校第1学年】
カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

「イ 効果的な読み方」及び「カ 目的に応じた読書」に関する指導事項

・第3学年及び第4学年の目的に応じた読書の経験や読書範囲の広がりを生かして、必要な情報を得るための効果的な読み方について定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 目的に応じて文章の概要を読み取ったり、詳細な情報を取り出したりするなど、効果的な読み方を工夫することができるようにしましょう。

第3学年及び第4学年では

- 必要な情報を得るために読んだ内容に関連したほかの本や文章などを読むことができるようにする
- ・疑問や課題を解決するために、関連する様々な本や文章を合わせて読むことができるように指導する。
- 多様な目的に応じていろいろな分野の本や文章を読むことができるようにする
- ・楽しむことや調べることといった目的のほか、読みたい内容に絞って読む、書き手を絞って読むなど、いろいろな分野の本や文章を読むことができるように指導する。

第5学年及び第6学年では

- 新聞記事の構成を理解し、必要な情報を取り出すことができるようにする
- ・新聞記事を教材として取り上げ、目的に応じて記事の概要を押さえ、詳細な情報を得ることができるように指導する。
- 新聞の編集の仕方や記事の書き方に注意して読むことができるようにする
- ・新聞の特徴を押さえ、記事と記事とを関係付けて読み、書き手が読者に伝えたいことを推論することができるように指導する。
- 目的に応じて新聞記事を活用することができるようにする
- ・テーマや題材に合わせて複数の新聞記事を比べて読み、書き手の立場や意見の違いなどについて検討することができるように指導する。

中学校第1学年では

- 目的に応じて必要な情報を読み取ることができるようにする
- ・文章の中で必要な部分に印を付したり、必要な部分を抜き書きしたりしながら読み進めるように指導する。
- 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付けることができるようにする
- ・必要な情報の有無について本の表題や目次等から判断したり、新聞の紙面構成等に基づいて必要な部分を探して読んだりするなど、資料の特性を生かした読み方ができるように指導する。

学校で指導すること

平成23年度の全国学力・学習状況調査の出題のねらいやその解答の状況等を分析し、発達の段階や指導内容の系統性を踏まえ、当該学年の指導だけではなく、基礎となる下学年の指導や学習が積み重なる上学年での指導を意図的・計画的に行うことが大切です。

フォローアップシートの題材では、

「B 書くこと」にかかわって～推敲に関する指導事項を重視する。

- ・第1学年及び第2学年
オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。
- ・第3学年及び第4学年
カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。
- ・第5学年及び第6学年
カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

「C 読むこと」にかかわって～目的に応じた読書に関する指導事項を重視する。

- ・第1学年及び第2学年
カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。
- ・第3学年及び第4学年
カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。
- ・第5学年及び第6学年
カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」にかかわって～「ウ 文字に関する事項」を重視する。

- ・第3学年及び第4学年
(ウ)漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。
- ・第5学年及び第6学年
(イ)仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。

を取り上げています。

「B 書くこと」の推敲にかかわる内容や、「C 読むこと」の効果的な読み方や目的に応じた読書、さらに、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のイの語句に関する事項やウの文字に関する事項については、練習問題で学習内容の定着を図ったり、三学期に今回の調査問題や過去の調査問題における類似問題を授業で取り上げたりするなどして、定着の状況を把握し、指導に生かすようにしましょう。

付録（データ）

今回の調査問題を、これまで出題された類似の調査問題等を比較し、掲載しました。各学校の調査結果などを表に入れるなど、それぞれの学習内容や領域を明確にして、指導の充実に役立ててください。（学校の平均正答率等を記入して活用願います。）

過去の類似した調査問題

平成23年度 調査問題					過去の調査問題等							
番	指導年	領域	調査問題の概要	自校	全道	調査問題の概要			自校	全道	全国	
3	小3・4	Aア	スピーチの内容の取り上げ方のよいところを説明したものととして適切なものを選択する		93.1	H19 A7	スピーチでの聞き手に分かりやすい話し方を選択する				54.7	55.7
5	小5・6	Bオ	主語を置き換えて記事の下書きを書き直す		35.7	H20 A3	文章を読み返して書き直した方がよい理由と方法を選択する				33.2	33.7

文字に関する事項（ア）にかかわる正答率一覧

	平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度				
	設問	自校	全道	全国	設問	自校	全道	全国	設問	自校	全道	全国	設問	自校	全道	全国	設問	自校	全道	全国	
文字に関する事項	導		94.2	95.2	保護		97.1	98.1	混雑		94.0	95.2	慣		90.1	96.2	移動			98.6	
	重		95.4	96.2	承知		84.3	89.1	移		91.3	91.1	目次		96.1	96.0	演技			96.2	
	責任		97.1	97.1	勢		73.1	76.3	採集		76.6	80.0	清潔		94.9	96.5	省			69.1	
	きょうりやく		93.3	94.3	な		75.0	82.6	ひょういん		66.2	76.1	ひさ		73.1	80.1	うめ			89.7	
	そうだん		49.4	58.0	よぼう		53.6	63.0	さんせい		67.6	78.3	ぎじゆつ		70.4	74.7	ひじょう			53.3	
	やく		61.0	70.7	おうぶく		51.9	64.4	はこ		72.4	80.6	へんか		84.7	90.3	おんど			91.5	